エミちゃん（初版）

私は昨年の 7 月 31 日日曜日の早朝、2 人目の孫を取り上げるという、今までにフィクションの世界でしか聞いたことのない出来事を経験しました。

今から 4 年前、初めての孫との対面も、非常にあわただしいものでした。娘が早朝からじん痛が始まり、初産にもかかわらず、3 時間という早わざで出産したのですが、何と 2 人目の時は、早朝、娘が起きてきて、「お母さん、破水した！」の第一声、「病院に電話して、入院の準備をしよう」と言っている間に、陣痛が少しづつ始まり、立川から昭島の病院へは 30 分前後、通常でしたら、余裕で間に合うはず。車の後に娘とバスタオルを乗せ、家を出発！その直後、「お母さん、赤ちゃんが出そう！」「待って、もうちょっとがまんして！」とあせる私。しかし、こういう時に限って信号はいじわるするように、ことごとく赤になり、病院に着く直前「お母さん赤ちゃんが産まれた？」　赤ちゃんが産まれてきてくれた感動など味わっていられず、取りあえず、タオルでくるみ、病院のベルを鳴らし、危機せまる声で「早くして下さーい、赤ちゃんがもう産まれたんです」と叫んでしまいました。

孫が産まれるという大きな出来事に直面した私は、パニックに陥りそうになりながらも、後で看護師さんに、その時の状況を聞かされた時、お母様がバスタオルでくるんでくれていたおかげで、低体温にならずにすみました。と言ってもらった時には涙が出ました。

エミちゃん

私は昨年の 7 月 31 日日曜日の早朝、2 人目の孫を取り上げるという、今までにフィクションの世界でしか聞いたことのない出来事を経験しました。

今から 4 年前、初めての孫との対面も、非常にあわただしいものでした。娘が早朝からじん痛が始まり、初産にもかかわらず、3 時間という早わざで出産したのですが。ところが何と2 人目の時ときは、早朝、娘が起きてきて、「お母さん、破水した！」という臨月の娘の青ざめた声に起こされました。の第一声、「病院に電話して、入院の準備をしよう」と言っている間に、陣痛が少しづつ始はじまり、りました。立川から昭島の病院へは 30 分前後、通常でしたら、余裕で間に合うはずです。車の後に娘とバスタオルを乗せ、家を出発しました。出発！その直後、車の後部座席から「お母さん、赤ちゃんが出そう！」という娘の声が聞こえてきました。私は「待って、もうちょっとがまんして！」とあせる私りながら答えました。しかし、こういう時に限って信号はいじわるするように、ことごとく赤になり、病院に着く直前「お母さん赤ちゃんが産まれた？」—と娘が私に尋ねます。見ると、もう赤ちゃんが産まれているではありませんか！　私は出来る限り平静な気持ちを保とうと心がけながら、赤ちゃんが産まれてきてくれた感動など味わっていられず、取りあえず、赤ちゃんをタオルでくるみ、病院のベルを鳴らし、危機せまる声で「早くして下さーい、赤ちゃんがもう産まれたんです」と叫んでしまいました。赤ちゃんが産まれてきた感動を味わう余裕など、このときはありませんでした。

孫が産まれるという大きな出来事に直面した私は、パニックに陥りそうになりながらも、後で看護師さんに、その時の状況を聞かされたとき時、お母様がバスタオルでくるんでくれていたおかげで、低体温にならずにすみました。と言ってもらったとき時には涙が出ました。

そんな経験から、私は「◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎」ということを学びました。

コメントの追加 [U1]: もっと簡単な言葉にしましょう。あまり見ないし、聞かない言葉です。
例：昨年の 7 月 31 日、私は 2 人目の孫をこの手で取り上げました。いえいえ、私の仕事は助産婦ではありません。だから、本来、こんな経験ができるはずもないのです。そして、そんな経験をしたことから「◎◎◎◎◎◎◎」ということを学びました。これから、その学びについてお話しします。

コメントの追加 [U2]: フォーマットと異なるはじまり方ですね。フォーマットに合わせましょう

コメントの追加 [U3]: 「も」は累積の「も」。なにかがあって、そして「も」です。なにもないなら、「は」や「が」が適切。

コメントの追加 [U4]: 「第一声」は、あまり見かけない言葉です。